

令和6年



消防統計

西条市消防本部

目 次

令和6年の数字は**19%**

火災統計	1P
------	-------	----

令和6年の数字は**44%**

救急統計	8P
------	-------	----

令和6年の数字は**23%**

救助統計	13P
------	-------	-----

火災統計

令和6年火災概要

出火件数：27件

建物火災件数：16件

火災損害額：49,764千円



令和6年の数字は、

19%

令和6年中の出火原因は、こんろが4件と最も多く、次いでマッチ・ライターが2件となっています。全国的にもこんろによる火災が出火原因の上位を占めています。

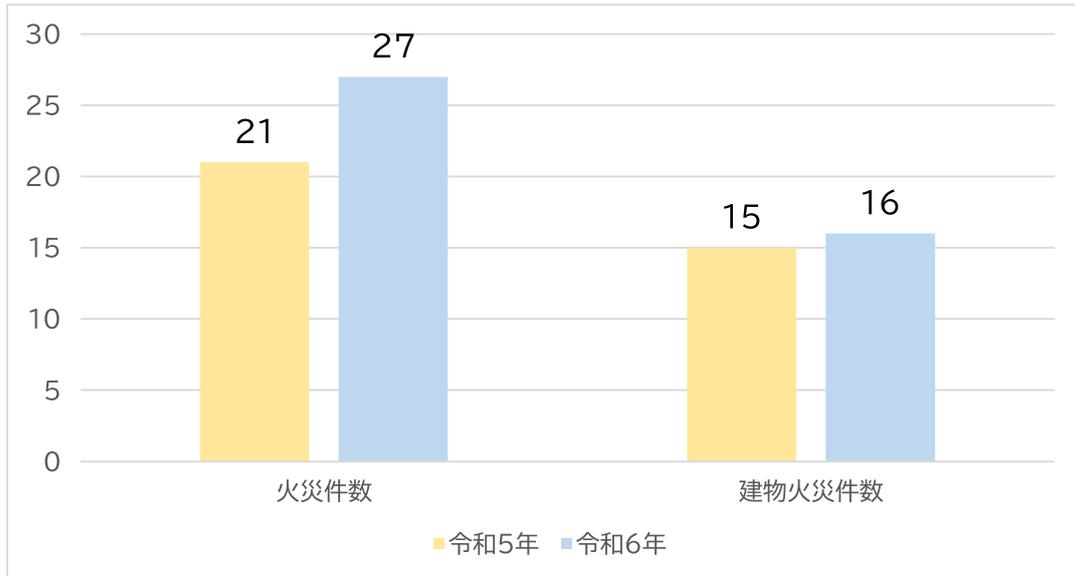
こんろを使うときは火のそばを離れないよう習慣化し、うっかり放置することがないようにしましょう。

19%は、建物火災において、出火原因「こんろ」の占める割合です。

【令和6年 西条市火災統計】

1 火災概要

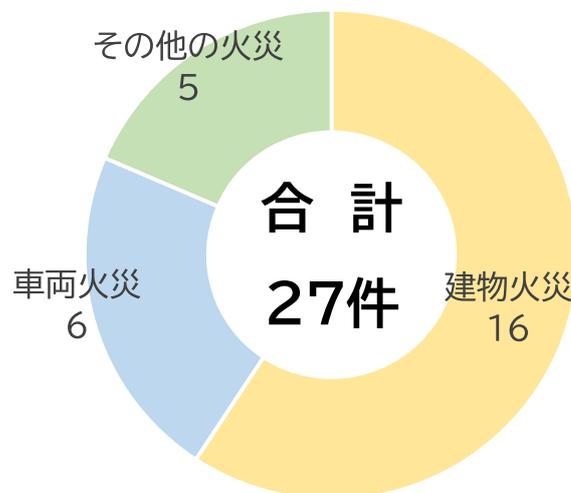
令和6年中における火災の状況は、火災件数27件(前年比6件増)、建物火災件数16件(前年比1件増)となっています。



2 火災状況

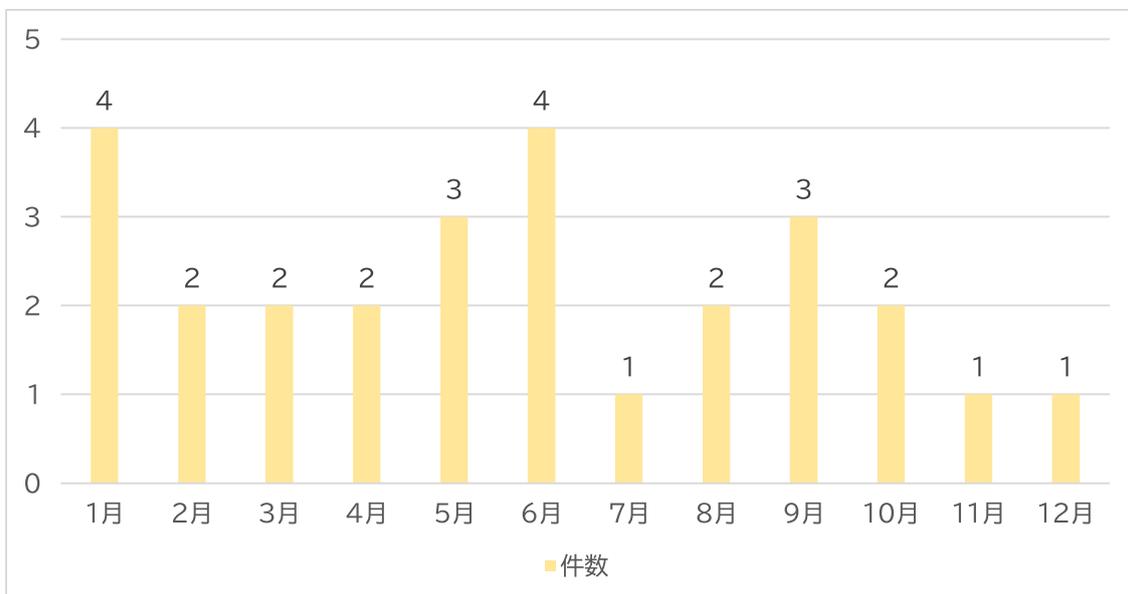
(1) 火災種別

火災種別ごとに件数をみると、建物火災が16件で約6割を占めており、次いで車両火災が6件、その他の火災が5件となっています。



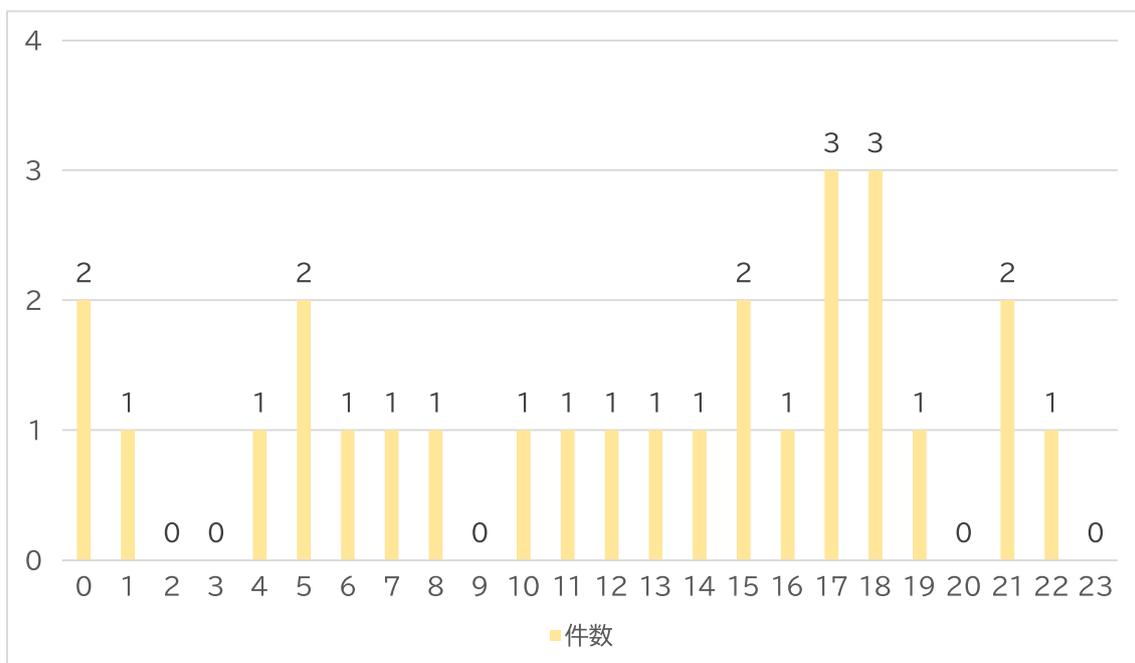
(2) 月別火災件数

火災件数を月別にみると、1月及び6月(4件)が最も多く、7月、11月、12月(1件)が少ない月となっています。



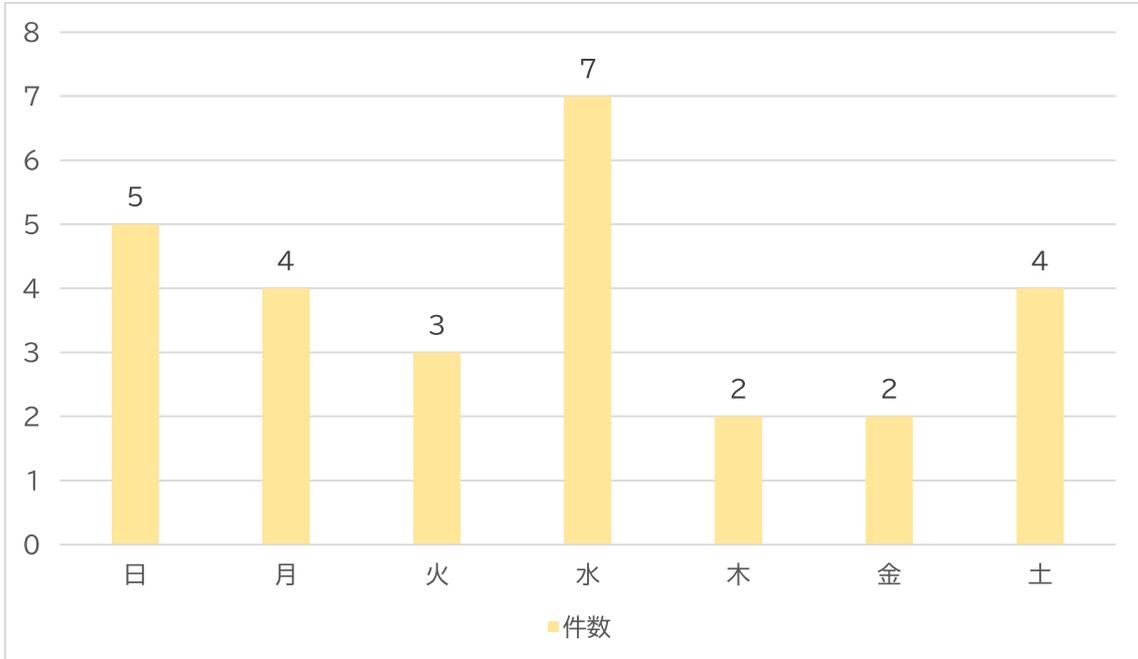
(3) 時間帯別火災件数

火災件数を時間帯別にみると、17時台と18時台(3件)が最も多く、夕食時間帯の出火が多い結果となっています。



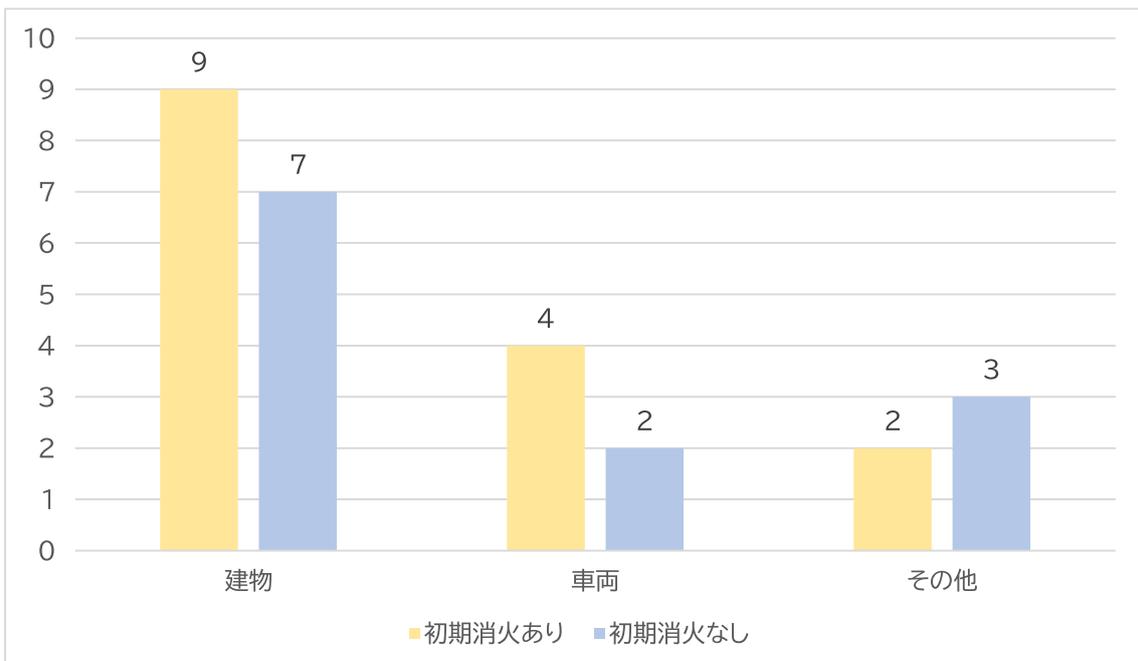
(4) 曜日別火災件数

火災件数を曜日別にみると、水曜日(7件)が最も多く、次いで日曜日(5件)が多くなっています。

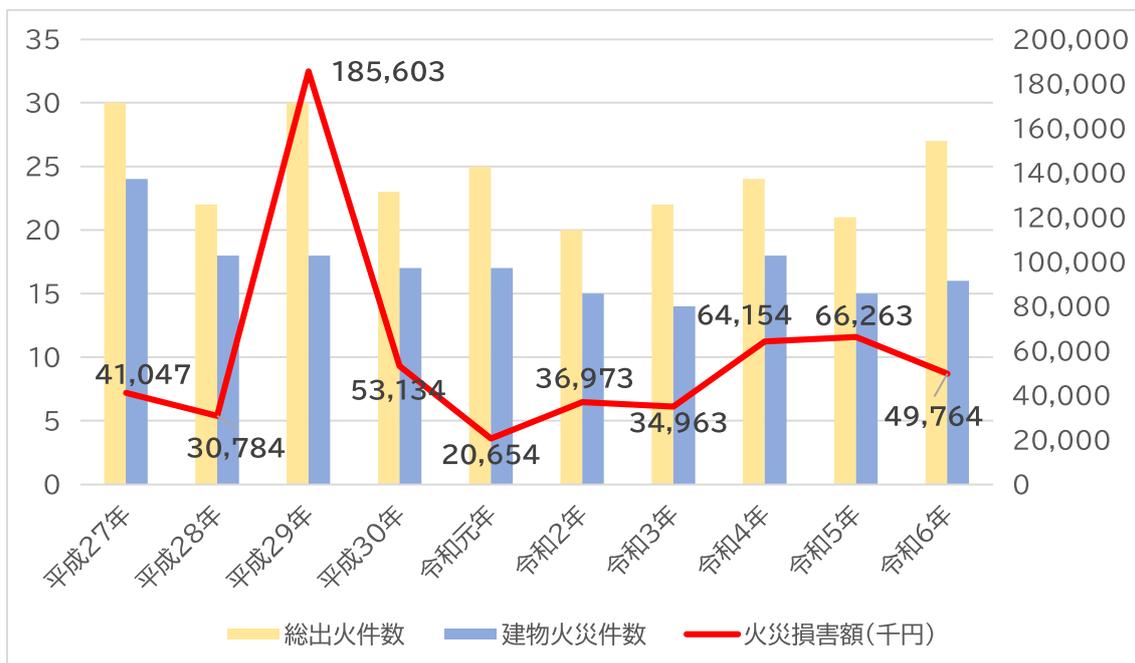


(5) 初期消火の状況

初期消火の状況を見ると、火災件数 27件のうち、15件は初期消火を実施しており、実施に至っていない件数については、12件となっています。



(6) 過去 10 年の火災概況(総出火件数、建物火災件数、火災損害額)

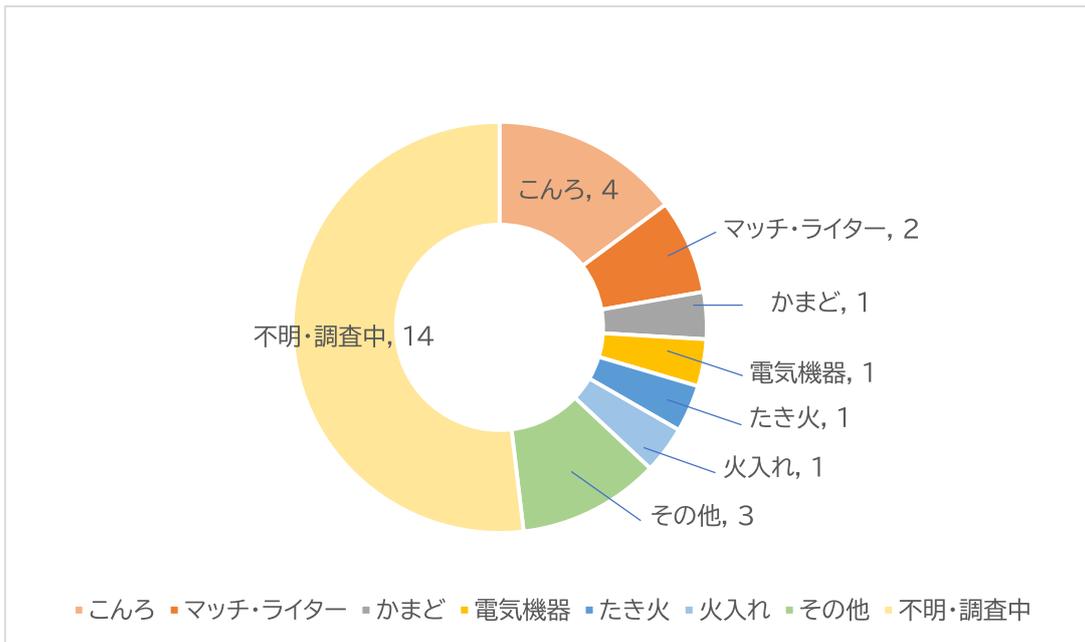


年	総出火件数	建物火災件数	火災損害額 (千円)
平成27年	30	24	41,047
平成28年	22	18	30,784
平成29年	30	18	185,603
平成30年	23	17	53,134
令和元年	25	17	20,654
令和2年	20	15	36,973
令和3年	22	14	34,963
令和4年	24	18	64,154
令和5年	21	15	66,263
令和6年	27	16	49,764

(7) 令和6年の出火原因

令和6年の出火原因別にみると、こんろが4件で最も多く、次いでマッチ・ライターが2件となっており、不明・調査中が14件となっています。

また、西条市の過去10年における出火原因をみると、たき火での出火が多くなっており、特に注意する必要があることがわかります。全国的にみても、近年では、たばこ及びたき火での出火が多くなっています。



西条市の過去 10 年における出火原因

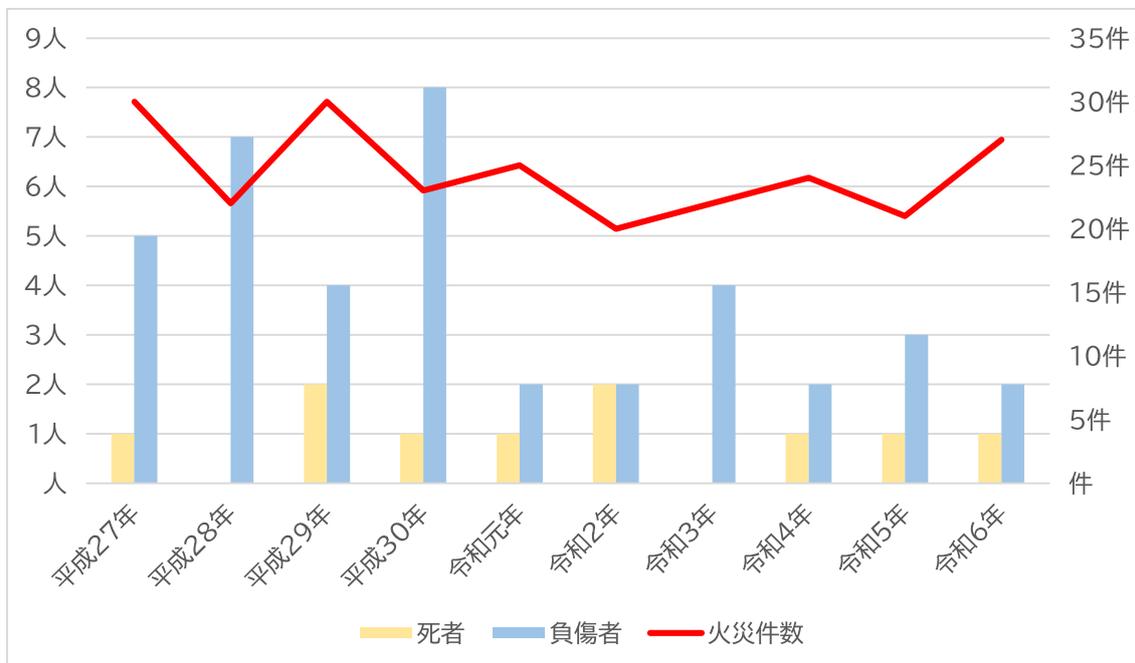
年	最も多い出火原因
平成27年	たばこ
平成28年	たばこ
平成29年	たき火
平成30年	たき火
令和元年	たき火
令和2年	たき火
令和3年	こんろ
令和4年	たき火
令和5年	たき火
令和6年	こんろ

近年における全国の出火原因

年	1位	2位
平成27年	電気機器の配線	ストーブ
平成28年	ストーブ	たばこ
平成29年	放火	たばこ
平成30年	たばこ	たき火
令和元年	たばこ	たき火
令和2年	たばこ	たき火
令和3年	たばこ	たき火
令和4年	たばこ	たき火
令和5年	たばこ	たき火

(8) 過去10年の死者、負傷者の状況

過去10年間の死者及び負傷者については、受傷頻度が変化していないことがわかります。

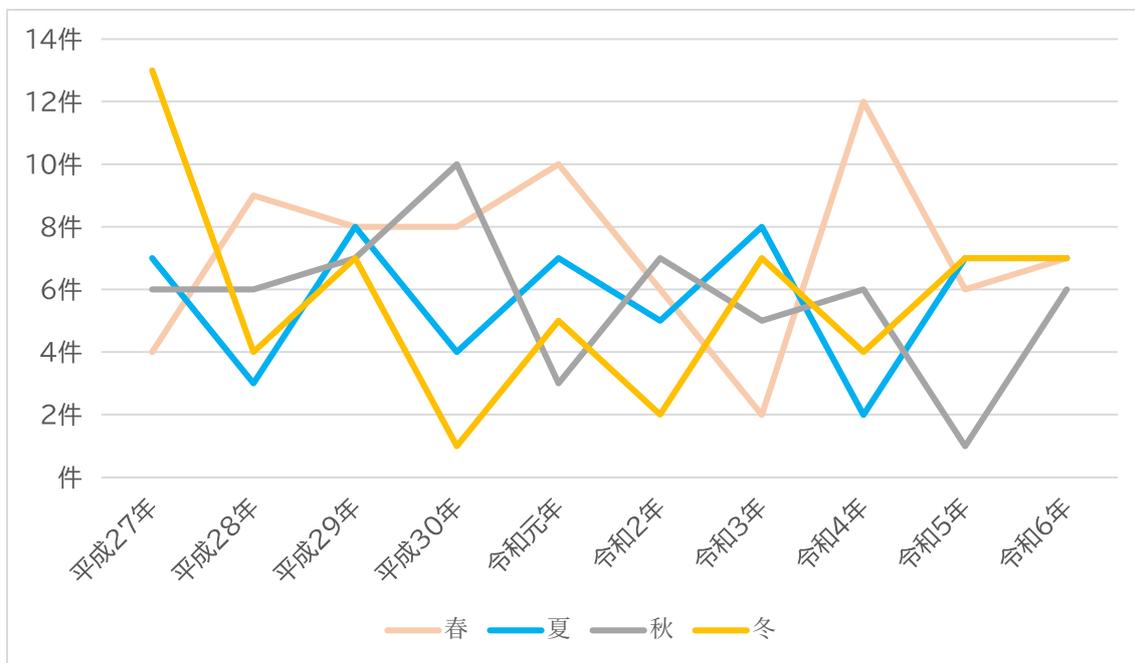


	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
死者	1人	0人	2人	1人	1人	2人	0人	1人	1人	1人
負傷者	5人	7人	4人	8人	2人	2人	4人	2人	3人	2人
火災件数	30件	22件	30件	23件	25件	20件	22件	24件	21件	27件

(9) 過去10年の四季別火災件数

(春3月～5月、夏6月～9月、秋10月～12月、冬1月～3月)

四季別の火災件数を比較すると、令和6年は、四季別変化はあまり見られないが、過去10年でみると、春の時期に出火件数が高い傾向にあることがわかります。



	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
春	4件	9件	8件	8件	10件	6件	2件	12件	6件	7件
夏	7件	3件	8件	4件	7件	5件	8件	2件	7件	7件
秋	6件	6件	7件	10件	3件	7件	5件	6件	1件	6件
冬	13件	4件	7件	1件	5件	2件	7件	4件	7件	7件

救急統計

- 令和6年救急概要

出動件数 : 6978件

搬送人員 : 6220人



過去最多！



令和6年の数字は、

44%

救急出動の増加に伴い、救急医療がひっ迫しています。

搬送人員が6,220人に対して、軽症者が44%となっており、救急車を必要としない事案も多くみられます。

緊急を要しない場合、診療時間内にかかりつけ医を受診する、判断に迷った場合は#7119に相談するなど、救急車の適正利用にご協力をお願いします。

【令和6年 西条市救急統計】

1 救急概要

令和6年中における救急業務の実施状況は、救急出動件数 6,978件、搬送人員 6,220人となっており、過去最多となりました。

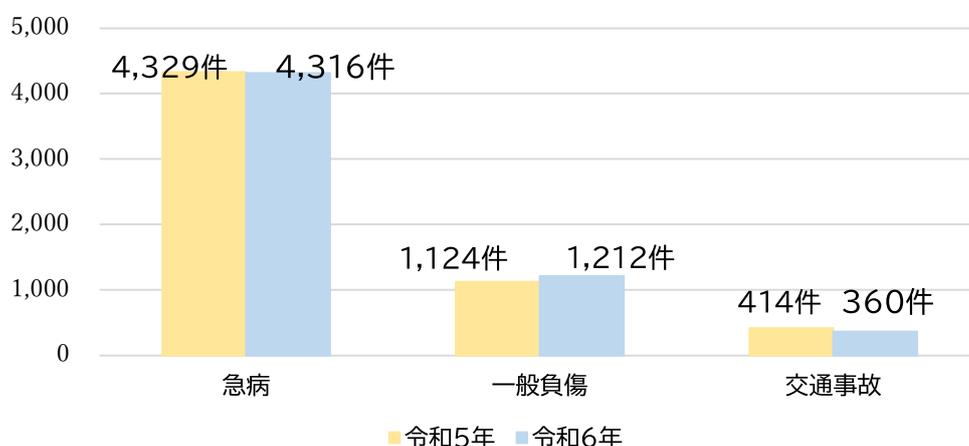
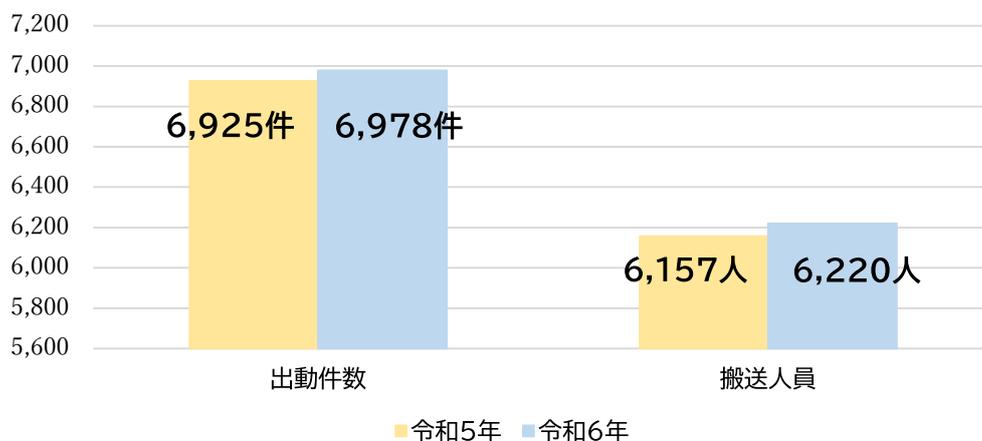
当市の1日当たりの救急出動件数は約 19.1件、搬送人員は約17人となっており、これは、年間に市民の約 17 人に1人が救急搬送されたこととなります。

事故種別の第1位は急病の 4,316件(61.9%)で、次いで一般負傷の1,212件(17.4%)となっています。

(1) 前年との救急件数・搬送人員の比較

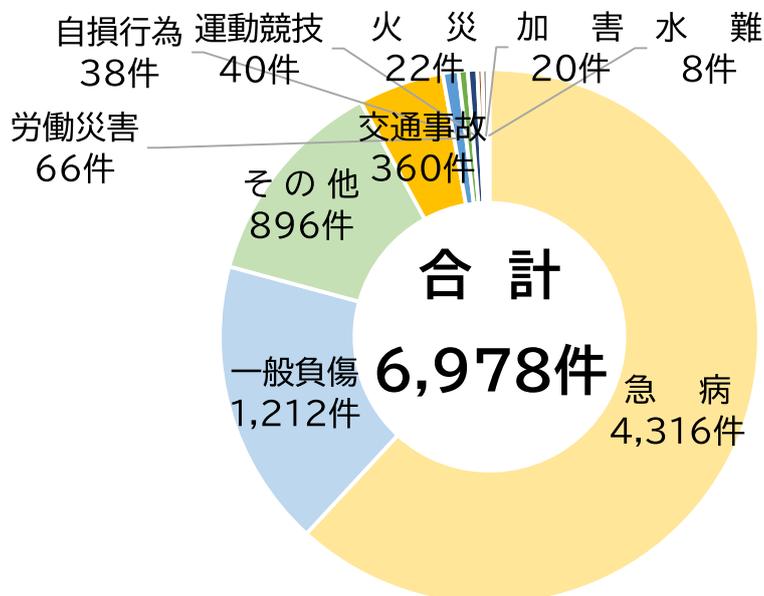
出動件数は前年比53件(0.8%)増加し、搬送人員も前年比63人(1%)増加しています。

事故種別でみると一般負傷が88件(7.8%)、運動競技が10件(33.3%)増加しており、交通事故が54件(13.0%)、急病が 13 件(0.3%)減少しています。



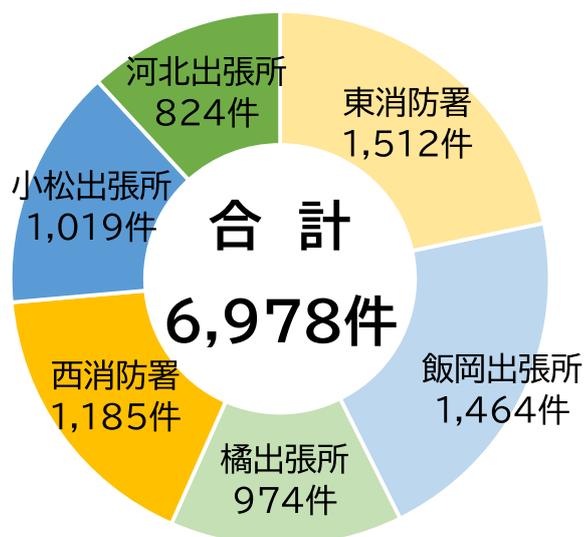
(2) 事故種別別の出動状況

事故種別別の内訳では、先に述べた急病、一般負傷、交通事故を除くとその他(転院搬送等)が多くなっております。



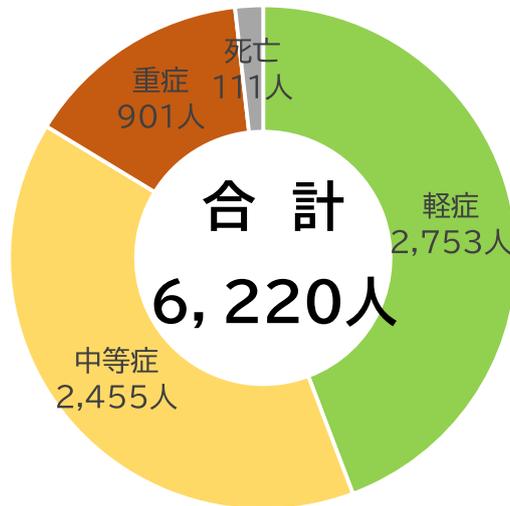
(3) 救急隊別の出動状況

東消防署では1,512件(21.7%)、次いで飯岡出張所は1,464件(21%)、西消防署は1,185件(17%)、小松出張所は1,019件(14.6%)、橘出張所は974件(13.9%)、河北出張所が824件(11.8%)となっています。



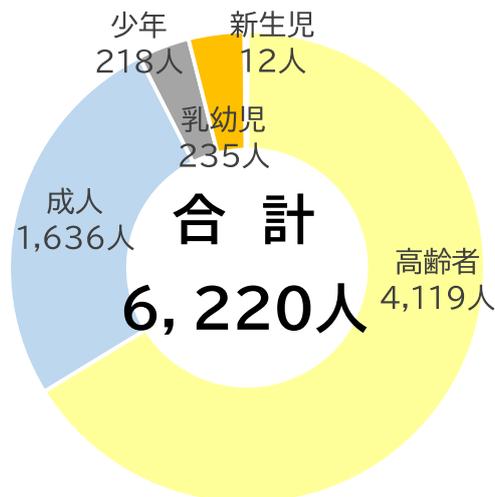
(4) 傷病程度別の搬送状況

入院加療を必要としない軽症が 2,753人(44.3%)と最も多くなっています。重症または軽症以外のものである中等症については 2,455人(39.5%)、3 週間以上の入院加療を必要とする重症では 901人(14.5%)となっています。

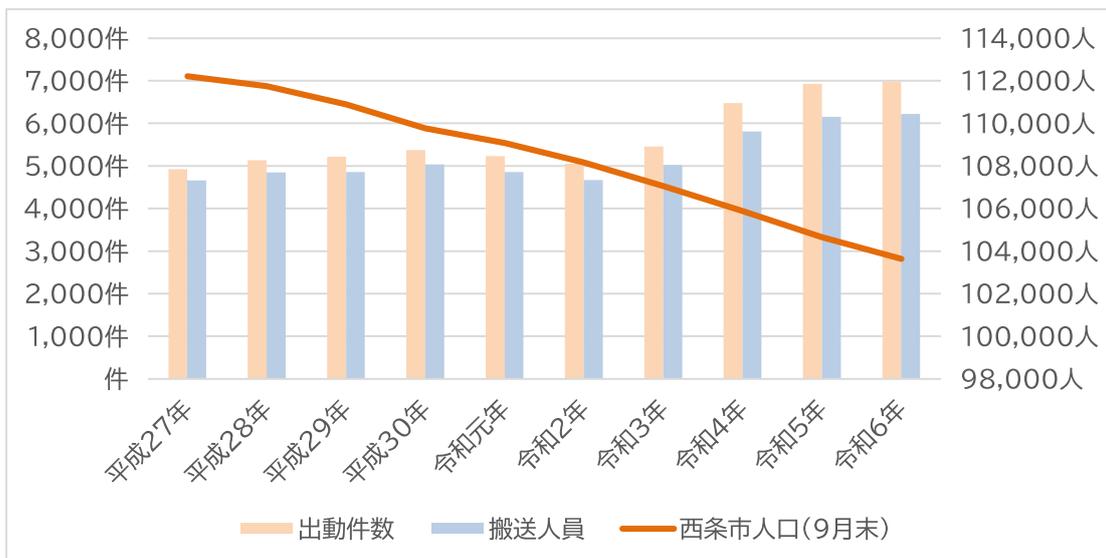


(5) 年齢別の搬送状況

高齢者(満 65 歳以上)が 4,119人(66.2%)と最も多く、次いで成人の 1,636人(26.3%)となっています。

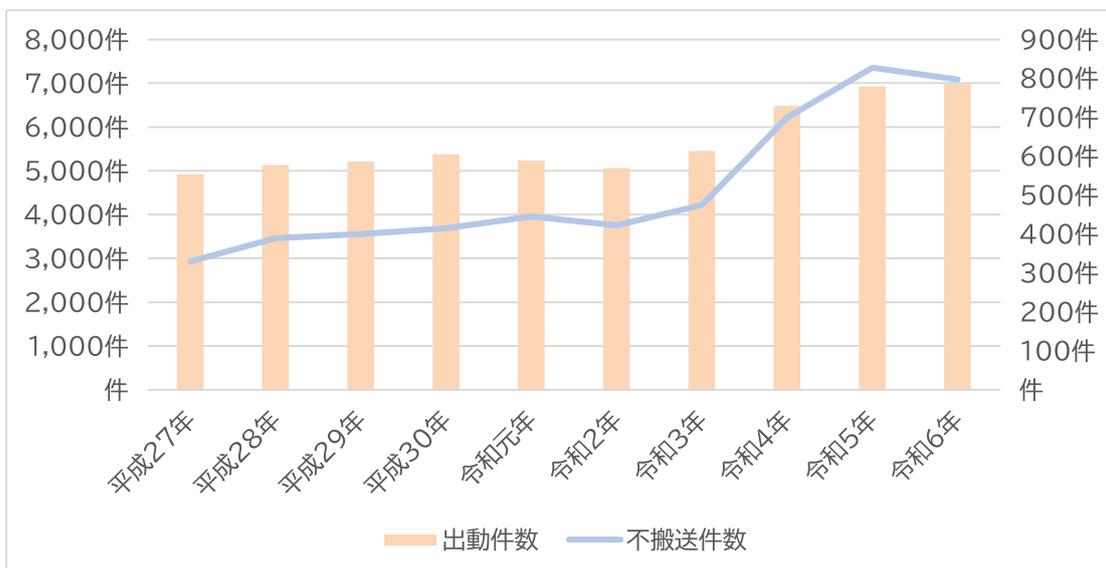


(6) 過去10年の救急出動件数及び搬送人員、西条市の人口の推移



	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
出動件数	4,922件	5,130件	5,213件	5,375件	5,234件	5,054件	5,454件	6,476件	6,925件	6,978件
搬送人員	4,664人	4,851人	4,855人	5,034人	4,859人	4,669人	5,019人	5,811人	6,157人	6,220人
西条市人口	112,215人	111,745人	110,887人	109,768人	109,071人	108,162人	107,052人	105,879人	104,655人	103,639人

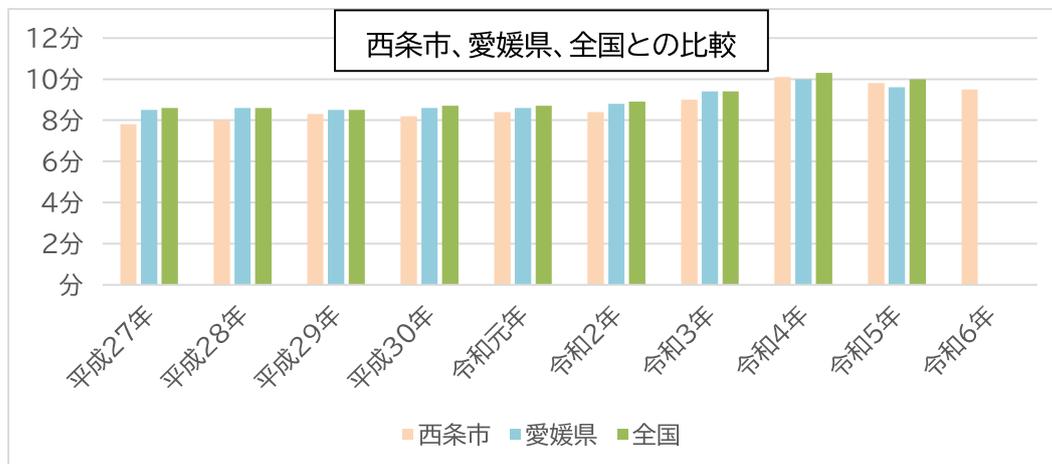
(7) 過去10年の出動件数、不搬送件数の推移



	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
出動件数	4,922件	5,130件	5,213件	5,375件	5,234件	5,054件	5,454件	6,476件	6,925件	6,978件
不搬送件数	330件	389件	400件	415件	445件	422件	475件	699件	828件	797件

(8) 過去10年の覚知から現場到着までの平均所要時間の比較

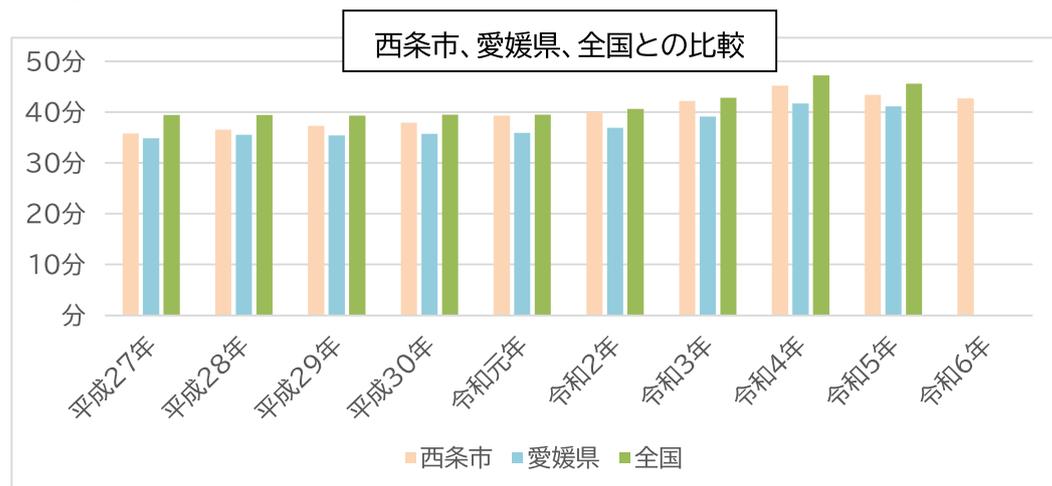
覚知から現場到着時間までの平均所要時間は、令和4年までは、西条市、愛媛県、全国ともに延伸傾向にあります。



覚知 現場 到着	(単位:分)	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
西条市		7.8	8.0	8.3	8.2	8.4	8.4	9.0	10.1	9.8	9.5
愛媛県		8.5	8.6	8.5	8.6	8.6	8.8	9.4	10.0	9.6	-
全国		8.6	8.6	8.5	8.7	8.7	8.9	9.4	10.3	10.0	-

(9) 過去10年の覚知から病院収容までの平均所要時間の比較

覚知から病院収容までの平均所要時間は、令和4年までは、西条市、愛媛県、全国において延伸傾向になっています。西条市と愛媛県を比較すると、県内の中でも病院収容までの時間を要する状況となっています。また、収容時間の差が開いていることがわかります。



覚知 病院 収容	(単位:分)	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
西条市		35.8	36.5	37.3	37.9	39.3	40.0	42.2	45.2	43.4	42.7
愛媛県		34.8	35.5	35.4	35.7	35.9	36.9	39.1	41.7	41.1	-
全国		39.4	39.4	39.3	39.5	39.5	40.6	42.8	47.2	45.6	-

救助統計

- 令和6年救助概要
出動件数 : 81件
活動件数 : 60件
救助人員 : 66人



令和6年の数字は、

23%

西条市では、石鎚山系の山々を管轄しており、昨今のアウトドアブーム等の影響により登山者が増加しています。

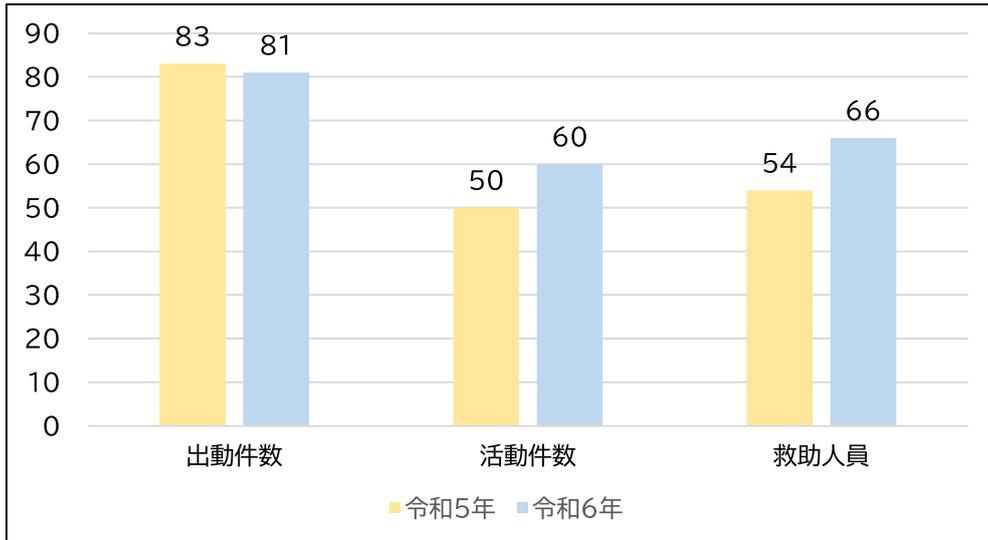
そのため、天候に関する不適切な判断や、不十分な装備で体力的に無理な計画を立てるなど、知識・経験・体力の不足等が原因で山岳遭難救助事案が19件（23%）発生しています。

自らの力を過信せず、十分な登山計画を立てて、登山等を楽しんでください。

【令和6年 西条市救助統計】

1 救助概要

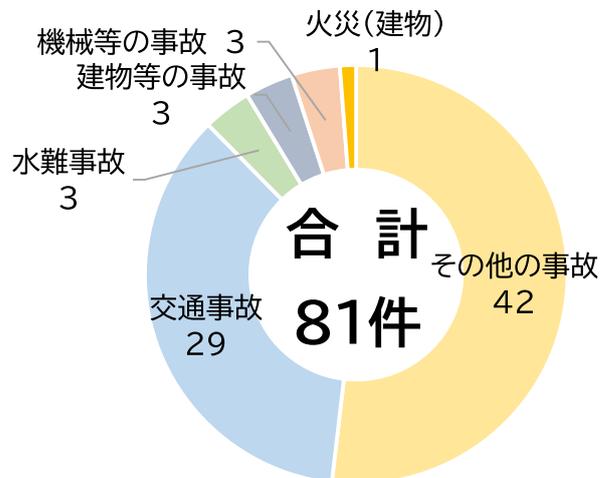
令和6年中における救助業務の実施状況は、救助出動件数 81件(前年比2件減)、救助活動件数60件(前年比10件増)、救助人員66人(前年比12人増)となっています。



2 救助活動状況

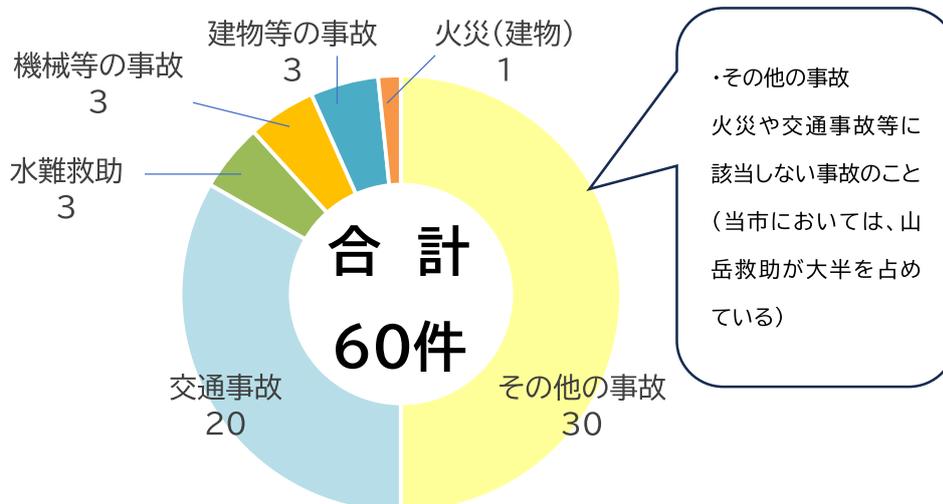
(1) 事故種別救助出動

事故種別ごとに救助出動状況を見ると、出動件数で最も多いのは、その他の事故 42件(51.9%)、次いで交通事故29件(35.8%)、水難事故3件(3.7%)、建物等の事故3件(3.7%)、機械等の事故 3件(3.7%)、火災(建物)1件(1.2%)の順となっています。



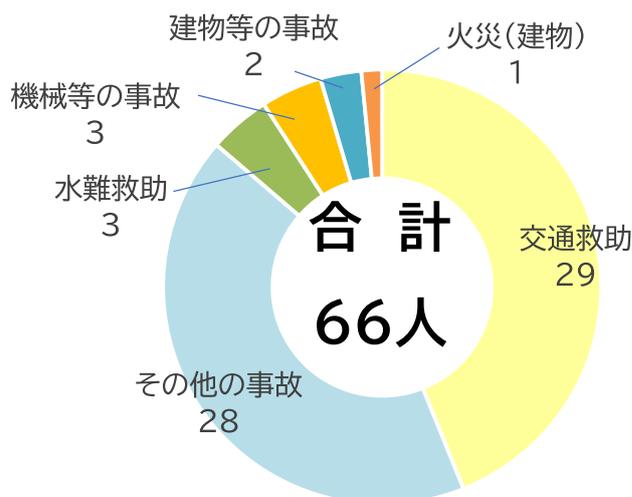
(2) 事故種別活動件数

活動件数で最も多いのは、その他の事故で30件(50%)、次いで交通事故20件(33.3%)、水難事故3件(5%)、建物等の事故3件(5%)、機械等の事故3件(5%)、火災(建物)1件(1.7%)の順になっています。

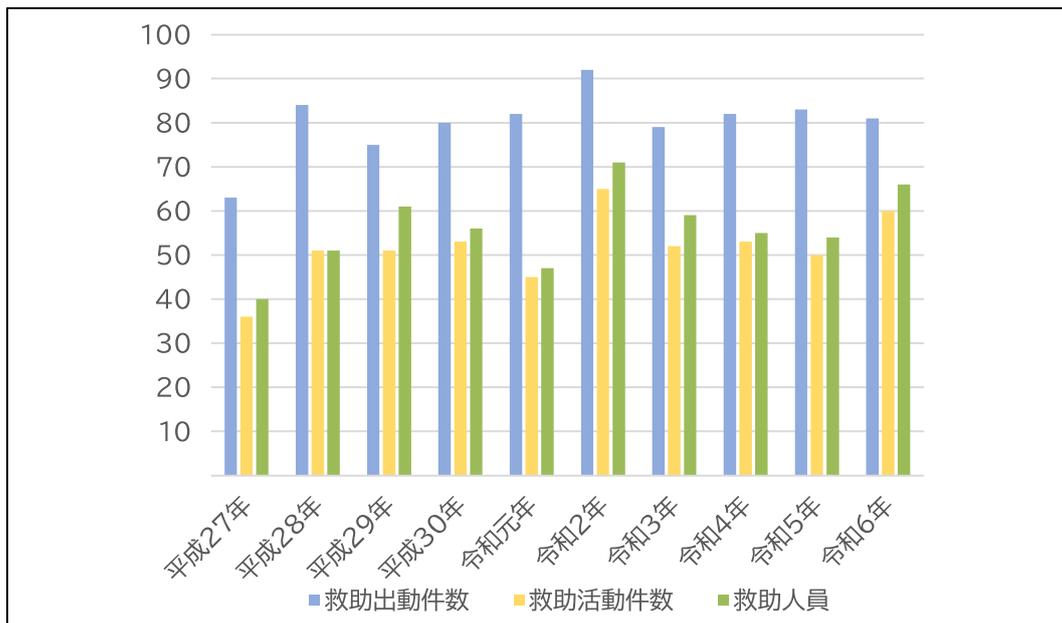


(3) 事故種別救助人員

事故種別ごとの救助人員状況を見ると、最も多いのは、交通事故 29 人(43.9%)で、次いでその他の事故28人(42.4%)、水難事故3人(4.6%)、建物等の事故3人(4.6%)、機械等の事故2人(3%)、火災(建物)1人(1.5%)の順となっています。

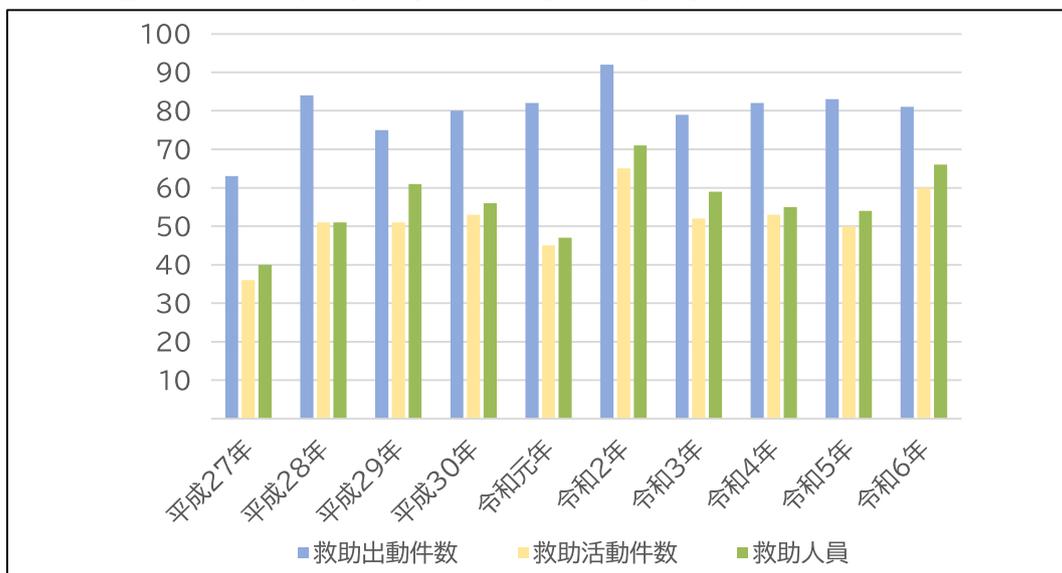


(4) 過去10年の救助出動件数及び救助活動件数、救助人員の推移



	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
救助出動件数	63	84	75	80	82	92	79	82	83	81
救助活動件数	36	51	51	53	45	65	52	53	50	60
救助人員	40	51	61	56	47	71	59	55	54	66

(5) 過去10年の救助出動件数の内、山岳救助件数の推移



	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
救助出動件数	63	84	75	80	82	92	79	82	83	81
山岳救助件数	11	14	11	5	14	18	15	14	13	19